

平成26年度 第5回 倫理審査委員会 会議の記録の概要

開催日時：

平成26年11月25日（火） 16：45～17：00

開催場所：

独立行政法人国立病院機構菊池病院 会議室

出席委員名：

坂西信彦、末松直幸、野口利幸、内村美子、益田博文、蛭原賢司、和田冬樹

審議事項：

申請番号 2519

【課題名】 イカ墨色素を用いた全消化管通過時間の簡易評価法の検討

【申請者】 藤原 彰（菊池病院 主任栄養士）

【研究の概要】 当院では、排便状況の確認及び下剤の調整は、排便頻度や消化器症状などを参考に行われている。ただし、排便が連日認めても、食物残渣（便）が腸管に長時間溜まっている場合や下剤の連用により極端に短い時間で排泄されている可能性がある。消化管通過時間は腸管における消化、吸収及び腸内細菌による発酵に少なからず影響していると考えられる。しかし、その評価には放射線非透過性マーカーを用いるなど特殊な検査が必要となる。

今回、簡便な方法を確立する目的で経口摂取により便色調への影響が予想される「イカ墨色素」を用いた消化管通過時間の簡易評価法について調査する。

【判定】 条件付承認

申請番号 2520

【課題名】 重度知的障害者の加齢現象と Advanced glycation end-products (AGE)

【申請者】 高松 淳一（菊池病院 非常勤医師）

【研究の概要】 重度心身障害者の血清に含まれる各種 AGE 構造体を LC-MS/MS で分析し、如何なる AGE 構造が如何なる病態と関連するか、病態の進行レベルや罹患期間、投薬との相関性も分析する。さらに、指先に光をあて、非侵襲的に AGE が測定可能な AGE と同様、血清 AGE と同様、病態の進行レベルや罹患期間、投薬との関連性を測定する。最終的には、血清 AGE の分析や皮膚 AGE の測定が、何らかの病態の予測マーカーとなりうるか調査する。

【判定】 承認